

# ぶらり 諏訪塾 ⑥ 大洪水がもたらした下諏訪の地名

安国寺周辺は前宮や千沢城、安国寺が隣接し、伊那へ通ずる小飼峠や西筋の鎌倉道、大門道（善光寺道）と交差する交通の要衝として繁栄していました。この地に入ヶ岳を水源とする富川、上川、そして上川から富川へ流れ込む手野川が時代と共にその流れを変え、時に平地へ大きな被覆をもたらすのです。

文明14（1482）年5月25日の大雨は安国寺地域の人、牛馬などが家ごと押し流され、千沢城へ逃れようとした人々までもが犠牲になってしまいました。2ヶ月後

の7月25、26日には再び大暴風雨に見舞われ大洪水となりました。永閑寺等々寺などの七堂伽藍（がらん）があった安国寺はことごとく流れ、一帯の平地地のほとんどが海原と化し、復興が進み始めた一帯は再びがれきの広野となったのです。

安国寺の仁王尊2体は曹根岸寺の2体とともに諏訪湖を漂流し、下諏訪の湖岸に吹き寄せられました。現在、この辺りの地名は「四王」と呼ばれています。漂着した4体が地名の由来になりました。洪水で流された石仏石碑は安国



寺橋の架け替え工事に関連した道路の中からは体見つかり、掘り出され、安国寺の参道に祀られました。昭和52年のことです。

＝ 随時掲載

詳しい場所などの問い合わせは 諏訪塾事務局（電話070・8323・2107）へ。



安国禅寺の参道脇に並ぶ石造物

- ぶらり 諏訪塾の冊子は
- ・ 諏訪市観光案内所  
(JR上諏訪駅内)
  - ・ れすとらん割烹いすみ屋  
(諏訪市諏訪)
  - ・ 書店「三書堂」  
(諏訪市米込)
  - ・ すわ大書情報センター  
(諏訪市博物館内)
  - ・ 諏訪書店  
(通販のみ 57・099)
- 2) で販売中です。

今回の筆者

涌井みち子さん

立川流建築彫刻研究者でスポーツインストラクターとしても活動しています

